

室川小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	室川小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	25人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	室川小学校	連携機関・団体	自治会・地域企業	

◆代表的・特徴的な活動

- ・地域・保護者による登下校安全見守り
- ・校内美化作業(芝刈り、草刈り、木々の枝打ち)
- ・支援児童の授業見守り ・学校行事への協力
- ・町探検(3年)保護者による引率、地域の方による案内講話
- ・地域企業(毎週月曜日学校周辺の清掃)



◆工夫していること

- ・自治会、地域ボランティアさんへの年間行事の周知活動
- ・ボランティアさんの健康状態確認等
- ・中学校区(安慶田中・安慶田小・室川小)
3校推進員月1~2回の情報交換会共有に努めている。



◆成果と課題

- 【学】昨年度と同様、コロナ禍で以前のような活動はできていないが、校内の環境整備をしていただき、運動場の整備がされて、午前中の運動会開催ができた。
- 【推】ボランティアさんによる芝刈り・草刈りで校内がきれい。
- △【推】読み聞かせ等の活動が出来なかった。来年度は行いたい。

美原小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	美原小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	91人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	クラブハウス(地域連携室)	連携機関・団体	自治会・シルバー人材センター	

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の交通安全
- ・毎週 月曜日の三線教室
- ・毎週 水曜日び下校パトロール
- ・毎週 木曜日の読み聞かせ
- ・茶道クラブ(年7回) ・家庭科のミシン指導補助(5学年)



◆工夫していること

- ・PTA広報誌を地域ボランティアへ配布
- ・読み聞かせボランティアへ直接呼びかける(特に地域ボランティアの方がへ)
- ・地域ボランティアの受賞等には、必ずPTAから花束の贈呈とPTA広報誌へ掲載し紹介を行っている。

◆成果と課題

- コロナ禍の中でも状況に合わせ、ボランティア活動を続けた結果、現在では以前と同様な形態でのボランティア活動を実施している。再スタートに関してもスムーズに行うことができた
- 朝の立哨交通安全ボランティアを増やすことが困難である。

泡瀬小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	泡瀬小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	38人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	泡瀬小学校・事務室	連携機関・団体	PTA・地域 読み聞かせサークルたんぼの会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登下校時の安全見守り
- ・朝の読み聞かせ(毎週木曜日)
- ・学習発表会時の小道具作り



読み聞かせの様子

◆工夫していること

- ・読み聞かせ時には入るクラスが決まったら名前を記入。その際、新型コロナウイルス感染予防の為に体温も計り記入してもらう。人数が少ない時は、校区外の読み聞かせボランティアに依頼している。
- ・ボランティアを募集する際に文章やメール、LINEで呼びかけている。
- ・ボランティア活動後には、保護者・OB・地域の方々と情報交換をしている。

◆成果と課題

- 【推】保護者・地域・OB・他校の推進員の方々の積極的な呼びかけ、またPTAと連携しメール配信によるお知らせを活用し、ボランティアを確保出来た。
- △【推】保護者によるボランティアが少なく、地域やOBの方々に頼りすぎてしまってる。
- △【学・推】先生方と連携が取れず、丸付けボランティアが活動出来ていない。

比屋根小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	比屋根小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	20人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	比屋根小事務室	連携機関・団体	自治会・市文化協会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の交通安全指導
- ・地域の方によるクラブ、書き初め指導
- ・運動会のエイサー地謡



◆工夫していること

- ・長期休暇(夏休みや冬休みなどの)期間に加え、コロナによる臨時休校や学校行事等も自治会やボランティアの方々へ周知することでボランティアの時間の有効活用。



◆成果と課題

- ・校内のグリーンエリアを学校と地域で育てる場としてボランティアを募り、花々を増やして行きたい【校長】
- ・コロナに留意しながら読み聞かせも復活させたい。【図書司書・推進員】



越来中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	越来中学校				
開始年度	平成24年	登録ボランティア	50人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	越来中学校	連携機関・団体	自治会・PTA・老人会・青年会 越来小・コザ小		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ(他校からの応援サポート:「父親」)
- ・環境美化ボランティア、登校時の安全指導ボランティア
- ・家庭科調理実習の支援
- ・地域の方々をお招きして、科学クラブ「アクアポニックス」の研究発表の説明会を開催



◆工夫していること

- ・新型コロナウイルス禍の中、地域ボランティア、老人会、少人数の依頼
- ・学校へ案内できないため、学校だより等を配布
- ・越来地区子ども文化祭への中学生の出品、出演に協力した



◆成果と課題

- ・本校1期生の方が、学校に花を植えたいとの申し出があり、蘭の提供があった。
- ・昨年に引き続き今年もお父さんだけの読み聞かせをし、生徒から好評を得た。今後も継続したい。
- ・地域の方にご協力をいただき、職業人講話を実施した。生徒の将来につながることを期待する。



コザ中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	コザ中学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	23人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	コザ中学校	連携機関・団体	各自治会、PTA、校区内小学校		

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ(今期は図書館からのリモートにておこなう等の工夫)
- ・オフィシャルライン等を駆使してボランティア講師の確保、及び連絡網作り。
- ・朝の登校見守り(横断歩道見守り、あいさつ運動)
- ・毎年恒例3年生のためのオオゴマダラ放蝶式(1年生飼育員とボランティアのサポートにて)
- ・校内美化作業、今年度から種蒔き育苗等を開始本格的に校内花いっぱい活動を展開している



◆工夫していること

- ・PTA主体の親子美化作業の際にも環境美化ボランティアに連絡して協働するように努めている
- ・地域の企業、店舗を訪ね交流し地域の方々のボランティアを増やすようにしている
- ・校区内の社会状況を子供たちに知ってもらい地域を好きになってコザの街に誇りを持つ地域人材バンク作りもできるように取り組んでいる
- ・学生ボランティアが増え、ラインを使ったボランティア仲間作りが始まっている



◆成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 【学】地域ボランティアさんと協働しての美化作業が定着しつつあり校内を明るくきれいな環境へと努めている
- 【推】多種多様な人材交流を目指して地域の中の学校作りに頑張りたい



山内中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	山内中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	74 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	山内中学校	連携機関・団体	各自治会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ（職員朝会に合わせて見守りも兼ねる）
- ・毎月第二金曜日校内緑化支援ボランティア
- ・支援学級ボランティア 体験学習（パソコンプログラミング）
- ・朝の登校安全指導
- ・職業人講話 ・学校行事への協力（駐車場係）



読み聞かせ(山内中)

◆工夫していること

- ・クリアファイルにボランティア募集と印刷し全生徒へ配布し啓蒙活動
- ・ボランティア活動後情報交換をもち活動の幅を広げる
- ・ボランティア活動新聞を作成し、周知活動
- ・「学校HP」を活用しボランティアの活動状況を配信



緑化支援(山内中)

◆成果と課題

- 【学】学校と地域ボランティアの方の協働により生徒の教育環境が
が整い安心して安全に学校生活を送ることができている。
- 【学】コーディネーターが打合せ等を行うため職員の負担軽減になっている。
- 【コ】月一回緑化支援ボランティアで校内の環境が整いつつある。
- △【コ】継続可能なボランティア活動にするには多くの人材確保が必要



職業人講話(山内中)

美里中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	美里中学校				
開始年度	平成24 年	登録ボランティア	25 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	美里中学校	連携機関・団体	校区内小学校・各自治会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・ミサトスクール commons（中学校を拠点とした活動）
- ・オンライン配信講座（ヨガ）
- ・対面による戸外での講座（ロカヒフラ）
- ・学校、家庭、地域に届ける情報動画（ゆいまーるTV、ゆいまーるNEWS）
の作成/週2回の勉強会



◆工夫していること

- ・ネット環境のある場所での開催をし、技術的な支援者との関係性を築いた
- ・校区内の小学校、自治会等へ直接声を掛け、チラシ、ポスター等を配布を行った

◆成果と課題

- 【学校】週2回の勉強会によって、保護者、地域の方々とのつながりが築けた
- 【推】技術的な支援者とのつながりで新しい活動体系が作れた
- △【推】ネット環境の不十分さの課題がある



美東中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	美東中学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	92人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	美東中学校	連携機関・団体	琉球大学 自治会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・「土曜塾」琉球大学生ボランティアによる数学学習支援。
- ・「模擬面接」高校受験対策としてのマナー指導。
- ・「職業人講話」社会で活躍している職業人を招いてのキャリア教育。
- ・困り感のある生徒のサポートとして「学習支援」を配置。
- ・美術科学習への「学習支援」としての地域事業所・店舗への協力依頼。



土曜塾

◆工夫していること

- ・「ボランティア募集&アンケートのお願い」のプリントを保護者へ配布し、ボランティアへの参加お知らせを促している。
- ・自治会と学校の懇親会を実施し、地域と学校の連携を図る。
- ・「土曜塾」では、生徒、保護者、学生ボランティアの方のアンケートを取り、成果と課題を次年度へ生かせるようにしている。



模擬面接

◆成果と課題

- 【学校】学習支援ボランティアの協力で、生徒の学習の助けとなっている。
- 【推】近隣の推進員との情報交換会のアイデアを取り入れることができた。



マナー講座

安慶田中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	安慶田中学校				
開始年度	H23年	登録ボランティア	14人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	安慶田中学校	連携機関・団体	校区内自治会及び各小学校	

◆代表的・特徴的な活動

- ・1年生の家庭科の授業で室川女性会の協力を得て、2日間にわたり全クラスに「着付け」の体験を実施した。
- ・横断歩道での交通安全ボランティアで、朝の挨拶運動とともに生徒の安全を守った。
- ・毎週金曜日に特支の子どもたちとともに農園の手入れを行った。



◆工夫していること

- ・定期的に自治会訪問を行い、ボランティアの人材の情報交換をして適材・適所できるように情報収集を行った。
- ・隣接する小学校のコーディネータと情報交換を行い共有を図った。
- ・部活動の父兄にも土日のボランティアの呼びかけを行った。



◆成果と課題

- 【学校】正門での交通安全ボランティアのおかげで、子どもたちが道を譲ってくれた車の運転手に感謝のお礼や朝のあいさつが自然に身につくようになった。
- 【推進員】「着付け」教室を実施した後、保護者向けの教室も実施してほしいとの声が上がりが好評だった。
- 【推進員】ボランティアが高齢で、若いボランティアを増やしたい。



宮里中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	宮里中				
開始年度	平成23年	登録ボランティア	90人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	宮里中学校	連携機関・団体	自治会・PTA	

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の「読み聞かせ」
- ・校内、校舎周辺の花壇の手入れ
- ・特別支援学級学習支援
- ・高校入試模擬面接



読み聞かせ

模擬面接

◆工夫していること

- ・「読み聞かせ」では各学年で実施。読書月間では全学年実施。
- ・特別支援学級では、地域の方、先生と打ち合わせをしながら学校周辺の花壇の手入れをしている。
- ・高校入試模擬面接では、推薦入試、一般入試と分けて実施している。

◆成果と課題

- 【学校】美化活動では地域の方と情報交換しながら実施することが出来た。
- 【学校】「読み聞かせ」では、感染防止対策の事前打ち合わせをしながら実施した。
- △【学校】エイサー、マナー講習、職業人講話がコロナ禍で実施出来なかった。
- 【推】ボランティアの方々と情報交換する事で登録ボランティアが増えた。

沖縄東中学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	沖縄東中学校				
開始年度	平成23年	登録ボランティア	70人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	沖縄東中学校	連携機関・団体	自治会・喜児夢庭の会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・社会人講話・生け花・朝の読み聞かせ
- ・合格祈願読み聞かせ・登校指導
- ・模擬面接指導・帰宅指導パトロール
- ・草刈りボランティア・マナー講習会
- ・制服リサイクル



◆工夫していること

- ・保護者・地域・自治会へボランティア募集の公文配布。
- ・ボランティア募集の横断幕作成。
- ・ボランティア活動後、情報交換会を行っている。
- ・PTA、地域、自治会と連携し人材の確保を行っている。
- ・安全を優先して活動を行っている。



◆成果と課題

- 【学】ボランティアが関わって下さったおかげで生徒の学び、やる気に繋がった。
- 【推】コロナ対策をしながらボランティア活動を行った。
- 【推】情報交換会を行うことで人脈が増え活動の幅が広がった。
- △【推】保護者のボランティア数が減少しているので声かけを継続していく。

豊見城市地域学校協働本部(豊見城市)

構成学校	市内8小学校 (上田小、長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、豊崎小、ゆたか小) 市内3中学校 (豊見城中、長嶺中、伊良波中)				
開始年度	H20年	登録ボランティア	1004人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	5人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- クラブ活動の講師
(うちなーぐち、三線、折り紙、書道、エイサー、短歌)
- 学習支援活動(補習指導、丸付け、見守り支援等)
- 生活科「昔遊び」指導
- 家庭科でのミシン操作補助
- 書道指導、書初め指導
- 平和講話
- 市内巡りガイド
- 交通安全指導
- 読み聞かせ
- 空手指導
- 環境美化(水やり、剪定)
- 心理学カウンセリング
- 日本語学習支援
- 適応指導教室
- 野菜植え付け指導
- 職業人講話
- 地域学習
(豊見城市の特産物についての講話、まち探検)



◆工夫していること

- 事前に打ち合わせを行うことで、学校側もボランティア側もスムーズに活動に取り組んでいる。
- 支援が必要な学習は、ボランティアを利用することで学習意欲を高めている。
- 活動の時間を学年で話し合っ、時間調整を工夫している。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密を避けながら工夫して活動している。
(クラブ活動では大型扇風機を準備し、換気を良くした等)

◆成果と課題

- 【学】学校が希望している講師を探してくれて、実施できたのが良かった。
- 【学】学校だけで行うよりもボランティアの方々の協力があると、より専門的な指導のおかげで学習効果が高い。
- 【学】児童の意欲向上につながっている(クラブ活動、各学年の学習活動)。
- 【学】多種にわたるボランティアの方々ののおかげで、児童の活動の幅が増えた。
- 【ボ】子どもたちと触れ合うことができ、楽しい。
- 【ボ】自分たちの思いを伝える機会があるので、今後も続けたい。
- △【学】コロナ禍なので講話等をオンラインで行ったが、通信の不具合等もあり講師の声が聞こえづらかったりした。今後の取組方法を工夫していく必要がある。
- △【学】コロナ感染防止対策を講じた上でのボランティア活用の推進が課題である。
- △【学】コロナウィルス感染症の状況による日程調整が難しい。

宮森小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立宮森小学校				
開始年度	年	登録ボランティア	30 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	学校	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- 登下校の交通安全指導
- 登校時の児童への検温チェックと放課後の校内消毒作業
- 地域ボランティア(イッペー会)との交流を兼ねた花植え活動
- 昔遊び&昔玩具づくり体験
- 朝の読み聞かせ ◇校内美化清掃作業(2月予定)



登校時の検温

◆工夫していること

- コロナ感染対策として、登校時の検温はボランティアと教職員一緒に取り組んでいる。
- 交通安全指導には校長も参加し、学校運営協議会等でもお互いに情報を共有し合っている。



苗植え作業

◆成果と課題

- 学校運営協議会のメンバーに活動推進員が参加していることで、情報を共有し合い地域との関わりがひろがってきた。
- 苗植えや昔遊びなど、地域人材を活用することで児童らに郷土愛を育むことにもつながった。 ▲コロナ関連等で活動できる範囲が限られたの残念。

城前小学校地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立城前小学校				
開始年度	H27 年	登録ボランティア	50 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	城前小学校内	連携機関・団体	各自治会	

◆代表的・特徴的な活動

- 読み聞かせ(月2回) ○登下校の交通安全指導 ○習字の指導(新春校内書初め会)
- 運動会(エイサー指導) ○学校行事(運動会のサポート)
- 部活動の指導(バスケットボール、バレーボール、野球、サッカー)
- 各自治体との交流(地域行事への参加呼びかけ)

◆工夫していること

- ・自治体の紹介と例年行われている行事の紹介動画を給食時間中に流す。
- ・毎月の下校時刻表を作成し、各自治会長さんを中心に地域の方で交通安全指導を行っている。
- ・学校支援ボランティアへの協力依頼(人材バンクを作成中)
- ・地域コーディネーターを通じて、可能な支援体制づくりに努めている。

◆成果と課題

- 昨年度から今年度途中まで、自治会行事が一切持てない中、例年行われている楽しい行事を動画で紹介したことで、子どもたちに自治会に対する興味関心を高めさせることができた。
- 読み聞かせや運動会でのエイサー指導など取り組み方を工夫して可能な実践ができた。
- 学習支援ボランティア活動の充実と今後の人材確保。

伊波小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	伊波小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	27 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	伊波小学校	連携機関・団体	各自治・読み聞かせサークル	

◆代表的・特徴的な活動

- 放課後子ども教室 ○環境整備
- 登下校の交通安全指導
- 地域の老人会との昔遊び交流会（前年度は中止、今年度は検討中）
- クラブ・部活動指導（ヨガ・手芸・バスケット・野球）



◆工夫していること

- 自治会や保護者等にボランティア募集の案内配布をしている。
- 昨年から、思うように人が集まったの作業ができなかったのですが、今年度は、部活や地域の方個々で作業してくれて、学校をきれいに保つことができた。
- 民生児童委員の方が、朝の交通安全指導や授業に入れない児童などの見守りに協力している。

◆成果と課題

- 定期的に小中で校区自治会長会を開催して学校と地域と連携がうまくいってる。
- △今年度は、昨年よりもコロナの感染拡大で地域との交流活動が出来なかったため、次年度はリモートなど、違う形で交流ができるよう検討していきたい。

与那城小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立与那城小学校				
開始年度	平成24 年	登録ボランティア	30 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	与那城小学校事務室	連携機関・団体	各自治会・PTA・地域ボランティア	

◆代表的・特徴的な活動

- 環境整備活動（校内の草刈り作業）
- 稲作ボランティア（米作りの指導・学習）
- 保護者による読み聞かせボランティア（スマイリー）
- 登校時における交通安全指導（保護者・老人会・自治会・警察等）
- 学行事における検温ボランティア
- 地域青年会によるエイサー指導（運動会にむけて）

◆工夫していること

- 校内における直接的な活動ができないため、遠隔システムを用いて読み聞かせを全校一斉で行った。
- 自治会の情報をPTAのLINE等でも配信し、地域での活動が幅広く紹介することができるようになった。
- 学校行事に来賓としてボランティアの方々を招待している。

◆成果と課題

- 《成果》ボランティアに参加する保護者が増え、コロナ禍におけるボランティア活動の形が構築された。
- 《課題》コロナ禍で、ボランティア活動の機会が減少した。（活用しにくくなった）

南原小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立南原小学校				
開始年度	R1 年	登録ボランティア	15 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	南原小学校・南風原公民館	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

学校と地域が作る学び

- ・三線クラブ・棒術クラブ講師・勝連城クラブ講師・地域のいろいろな方から学ぶことで、子どもたちの学習に厚みと深まりが増しました。
- ・地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった活動が出来ました。

◆工夫していること

実際にボランティアと一緒に体験する。自分の体験談や魅力を発信することで、保護者や地域の方にもこの事業の魅力を伝えることができる。

◆成果と課題

- 成果としては、本事業から地域に対する新たな発見や出会いがあったこと。
- 課題としては、地域の発展と共に継続していくためのきめ細かい連携が必要だと思えます。

勝連小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	勝連小学校				
開始年度	R1 年	登録ボランティア	0 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	本校	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

市民協働学校おやわしの会

理事会・運営委員会を隔月で実施。情報交換・協力依頼・要望事項などを協議している。

(今年度の実施は一回のみ)

◆工夫していること

地域を招いての交流から一歩進んで、地域の一員としてできることを考え、地域に出ていく活動を推進している。

◆成果と課題

▲コロナの影響で計画がほとんど実施できていない。

平敷屋小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立平敷屋小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	30 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	平敷屋小事務室	連携機関・団体	読み聞かせボランティア「グリム」	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ(月1回) ・交通安全指導 ・校区探検 ・講師(地域の偉人を学ぶ学習)
- ・部活動の指導(野球、バレーボール)
- ※令和3年度は、コロナの影響で予定していたができなかった活動
- ・丸付けボランティア ・平和学習講師
- ・書初め講師 ・伝統芸能(エイサー)指導、着付け ・清掃活動

◆工夫していること

- ・学校運営協議会での学校、地域との情報交換。
- ・ICT機器を活用した読み聞かせの実施。(コロナの影響のため)
- ・今年度も感染症予防のため、校区探検や地域の偉人を学ぶ学習では、感染症予防対策を講じて実施(3密を避ける等)。

◆成果と課題

- 地域学校協働活動推進員の熱心な活動により、地域の方々が積極的に学校支援してくれている。
- 地域学校協働活動推進員の後継者問題が課題。
- 新たな地域人材の発掘。

津堅小中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	津堅小中学校				
開始年度	年	登録ボランティア	7 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	津堅小中学校	連携機関・団体	自治会、漁業津堅支部、いこいの家、読み聞かせボランティア	

◆代表的・特徴的な活動

- ・環境整備(地域の方の夜草刈り作業)(地元の公共事業を請け負っている業者のトラックと人材を提供してもらい木々や草等の運搬作業の協力してもらっている。)
- ・今年はコロナウイルス感染拡大防止の為学校行事が中止や自粛の為漁業津堅支部の協働の場がなくなった。

◆工夫していること

- ・地域の組織(漁業津堅支部、青年部、長寿会)の協力依頼
- ・地域行事への積極的参加
- ・地域伝統芸能の継承
- ・年3回の学校運営協議会(情報交換)
- ※コロナウイルス感染拡大防止の為、会の開催が出来なくなった。



◆成果と課題

- 【学校】地域人材の適材適所
- 【業者との協力体制】
- △【コ】今年もコロナウイルス感染拡大防止の為地域行事がほとんど自粛して児童生徒が参加出来なくなった。地域の伝統芸能を継承していくために児童生徒へ継承を促す努力が必要だと思ふ。

川崎小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立川崎小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	15 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	学校	連携機関・団体	川崎小学校区自治会		

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の交通安全運動への協力
毎月を学年割り振りで学校通学路の交通安全指導を行っている。
- 平和集会での講話
学校独自で実施している川崎ジェット機墜落平和集会において、地域の方に協力してもらって、インタビューに答えてもらった。



◆工夫していること

- 朝の交通安全運動への協力…学級担任とPTA事務による保護者への連絡・確認で実施。
- 平和集会での講話…実際に墜落を見た方からの証言やインタビューに答えてもらえるよう自治会との連携

◆成果と課題

- 学校を運営する上で子ども達や学校行事で保護者や地域の方々の協力は必要不可欠であり、積極的に協力してもらっているのが助かる。PTA作業等でも保護者・部活動の協力もある。
- △今年度は新型コロナの影響で例年通りの取り組みはできていない状況である。早く通常通りの学校活動が再開できるようになってほしい。

天願小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立 天願小学校				
開始年度	平成24 年	登録ボランティア	30 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	天願小学校	連携機関・団体	地域老人会、地域成人会 夢ふうせん(読み聞かせ) 学習支援ボランティア		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝のあいさつ・交通安全指導(地域老人会・成人会)
- ・読み聞かせ(月2回)
- ・学習支援 {昔遊び体験(3年生)・稲作体験(5年生)}
- ・クラブ活動支援ボランティア(ウチナーグチ)



R3 感謝集会

◆工夫していること

- ・読み聞かせ「夢ふうせん」への月2回協力依頼
- ・コーディネーターによる保護者・地域(公民館)との連絡調整
- ・各自治会行事への参加奨励
- ・年間を通じた活動への協力体制(交通安全指導・読み聞かせ・昔遊び・稲作体験)

◆成果と課題

- コーディネーターによる地域との調整で学校ボランティアが増えた。
- コロナ禍における活動の工夫
- 保護者も含めた地域ボランティアの人材確保

あげな小学校地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立あげな小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	20 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	あげな小学校事務室	連携機関・団体	・西原区老人会(願寿会)・読み聞かせボランティア(ドリームポケット)		

◆代表的・特徴的な活動

- 月一回の読み聞かせ、パネルシアタークリスマス(12月)、大型紙芝居(3月)
- 朝の交通安全見守り(保護者・老人会)
- 一年生の給食配膳(保護者)
- 朝の活動丸付け(保護者)
- 地震・津波避難訓練見守り(保護者)

給食配膳の様子



◆工夫していること

- 老人会員へ朝の交通安全見守りの協力依頼
(毎月当番表・主な行事予定を作成して配布している)
- 保護者へ各種ボランティアの依頼



避難訓練見守りの様子

◆成果と課題

- 【成果】○読み聞かせ等を色々なボランティアを通して学校へ足を運んでもらう事により保護者や地域の方々の横広がりでの協力体制ができています。
- 【課題】○各種の地域人材の確保
○1ヶ月で又いつ行事が中止になるのか心配で思い通りにボランティアの呼びかけができない。

田場小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市田場小学校				
開始年度	H26 年	登録ボランティア	35 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	田場小学校 第一会議室	連携機関・団体	各自治会・各老人会・ 読み聞かせボランティア等		

◆代表的・特徴的な活動

- 週1回の読み聞かせ(低・中・高学年に分けて実施)
- 運動会に向けての授業でのエイサー指導(5、6年)
- 部活動の指導や見守り
- 給食支援(1年)○学習支援(授業)
- 朝の交通安全指導



【読み聞かせの様子】

◆工夫していること

- 朝の交通安全指導では、月ごとに担当学年の保護者へお知らせをし、活動可能な日にちを確認してから調整した日程で依頼をしている。保護者と老人会が協力して朝の交通安全指導を行っている。
- 読み聞かせでは、低学年にボランティアの読み聞かせがある日でも、ZOOMを活用して中学年や高学年も視聴できる環境を作っている。

◆成果と課題

- 【本部】朝の交通安全指導に参加していただける保護者や老人会の方が数多くいる。
- 【学校】ZOOMを活用したことで、読み聞かせができる回数が昨年に比べ増えた。
- △【コ】保護者を含めた様々な分野での地域人材の確保

具志川小学校地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立具志川小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	47人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	職員室		連携機関・団体	自治会・わかば会・Gメン・子ども会 駐在所等	

◆代表的・特徴的な活動

- 交通安全指導
- 学校行事への支援(遠足・避難訓練等)
- 学習支援
- 体育・特別活動・総合的な学習の時間
(エイサー指導・稲作体験・地域巡り・平和学習等)



◆工夫していること

- 地域コーディネーターと連携を図り、各組織の責任者に連絡を取り、活動内容や方法、参加人数等の把握に努めている。
- リモートを活用し、読み聞かせボランティアによる「読み語り」や感謝集会(地域の方を招き)を実施した。



◆成果と課題

- 地域コーディネーターの積極的な活動により学校への支援が充実し、地域と学校の連携が図られた。
- コロナ禍ではあるが、地域人材を活用し、充実した体験学習を行うことができた。
- PTAを含め、さらなる地域人材の確保が必要である。

兼原小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	兼原小学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	30人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	職員室		連携機関・団体	シルバー人材 社会福祉協議会 グッジョブうるま 地域敬老会	

◆代表的・特徴的な活動

- 1年・・・鍵盤ハーモニカの指導 講師招聘 交通安全教室・・・シルバー人材 警察署
- 3年・・・警察署・消防署見学(予定) 栄養士による食育指導(予定)
- 4年・・・福祉講話 アイマスク体験 社会福祉協議会
- 5年・・・性教育(予定) 栄養士による食育指導(予定)
- 6年・・・キャリア教育 職業人20人によるオンライン講話 グッジョブうるま
- 全学年・・・読み聞かせボランティア(オンライン) 保護者
朝の交通安全指導 地域敬老会

◆工夫していること

- ・地域コーディネーターと連携・情報共有
- ・感謝集会へ招待して全児童から感謝の気持ちを伝える。

◆成果と課題

- ・コロナ禍ではあるが、少人数やオンラインにするなど工夫することで実施することができ、体験的な学習で学びを深めることができた。
- ・地域コーディネーターと連携して地域人材バンクの作成と年間指導計画への位置づけが課題。

高江洲小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立高江洲小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	22 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	高江洲小学校	連携機関・団体	しきなみ短歌クラブ	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の安全登校指導サポート
- ・家庭課のミシン及び補習の授業サポート
- ・クラブ活動における短歌及びしまくとうば指導
- ・読み聞かせ
- ・検温、消毒活動
- ・避難訓練時の交通安全サポート
- ・学校PCR検査時の補助

◆工夫していること

- ・毎月のボランティア活動により、活動者や職員の感想や意見などを掲載している。全家庭及び地域に配布して、活動の意義や楽しさを伝えている。
- ・できる限り、補充メンバーを確保できる体制を心がけ、負担のない状況づくりを行っている。

◆成果と課題

- ◎ 無理なく楽しい活動を原則とした参加ができていると思う。
- △ ボランティア同士、保護者同士の接点が少ないため、横のつながりの強化・充実を図ってきたい。



中原小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立中原小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	60 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	中原小学校	連携機関・団体	各自治体・環境整備ボランティア球友会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登下校安全指導
- ・学習支援
- ・家庭科実習サポート
- ・読み聞かせ
- ・クラブ指導
- ・環境整備



◆工夫していること

- ・PTCA・自治会・ボランティアさんとの情報交換と親睦。
- ・近隣校との連携・情報交換



◆成果と課題

- 各自治会への声掛けを促すことで、新規ボランティアさんに繋がった。
- ボランティアさんの確保と周知活動。

赤道小学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	赤道小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	15 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	赤道小学校	連携機関・団体	おはなしのたね(読み聞かせ・自治会等)	

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の交通安全指導
- 朝の検温・消毒
- 放課後子ども教室
- 読み聞かせ



◆工夫していること

- 朝の交通安全指導 → 一人ひとりの顔や表情を見ながら声をかけている。
- 朝の検温・消毒 → 授業が始まる前に消毒を済ませている。
- 放課後子ども教室 → 毎月末にスタッフ反省会を開いている。子供たちが飽きないように毎月、違う講師を招いている。
- 読み聞かせ → 緊急事態宣言中は事前にビデオ撮影し、教室で視聴している。
- 県・市議会議員・自治会・民生員・PTA役員 → 朝の交通安全指導のメンバーに入ってもらっている。

◆成果と課題

- 朝の交通安全指導 → ほとんどの児童がメンバーの顔を覚えている。
- 放課後子ども教室 → 毎月講師が変わることで子ども達の活動意欲が増している。
- 読み聞かせ → 読み聞かせビデオをうまく活用できた。
- 県・市議会議員・自治会・民生員・PTA役員 → メンバーの協力で活動がうまく機能している。
- △朝の交通安全指導の人数が足りていない。
- △コロナの影響で子ども教室の参加人数の波がある

彩橋小中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	彩橋小中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	19 人	地域学校協働活動 推進員等	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	彩橋小中学校	連携機関・団体	彩橋小中学校	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の安全見守り(ハッター隊)
- ・読み聞かせ(毎週火曜日)
- ・校外学習や未来塾の講師として子どもたちへの学習支援
- ・環境整備
- ・エイサー女踊りの帯づくり(児童生徒への寄贈)

◆工夫していること

- ・地域への情報発信を行い。ホームページ等を活用している。
- ・各自治会への声かけ・情報共有
- ・お世話になっている地域の方々へお礼の手紙(感謝状)を児童生徒で作成し、感謝の意を伝える。

◆成果と課題

成果

- ・地域支援コーディネーターを積極的に活用し、地域の方を講師としてたくさんの授業への参加してもらった。

課題

- ・地域人材や素材の情報が、コーディネーター頼みになっているので、年度初めにある程度の情報共有が必要。

石川中学校地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立石川中学校				
開始年度	H26年	登録ボランティア	24人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	石川中学校	連携機関・団体	校区自治会、民生委員	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせボランティア(月1回)
- ・BGパトロール(月1回)
- ・エイサー指導、三線指導、浴衣着付け指導、
- ・未来塾 石塾 ・学習支援 ・PTA朝のあいさつ運動
- ・消毒作業生徒用トイレ、手すり(月～金)



◆工夫していること

- ・地域学校協働活動推進員の協力体制(ボランティア人材の情報共有)
- ・BGパトロール校区内の巡回指導を行っている
- ・学校課題や必要な支援について、共通理解が図れるよう常に地域学校協働活動推進員と連携を図っている。

◆成果と課題

- 各種の取組を充実させることで、学校に地域の方が足を運ぶ機会がふえた。
- 配慮を要する生徒への学習指導の充実が図られた。
- 各種ボランティアの周知と発掘は今後も必要である。
- 担当職員との連携
- 学校運営協議会、PTAとの連携



伊波中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立 伊波中学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	40人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	伊波中学校	連携機関・団体	校区自治会・民生委員	

◆代表的・特徴的な活動

- ・部活動支援 ・読み聞かせ
- ・学習支援
- ・夜間パトロール
- ・生け花提供(いじゅの会)
- ・美化作業・農園管理



◆工夫していること

- ・近隣学校コーディネーターとの情報交換や相互協力
- ・生徒の支援を効果的に行うための情報交換
- ・自治会及び民生委員との連携強化
- ・生徒の要望を取り入れた取組の開設

◆成果と課題

- 生徒への直接的な支援により、登校意欲につながった。
- ボランティアの輪が広がり、関わる地域の方が増えた。
- △生徒のニーズに応えられるよう、レパートリーを増やしたい。
- △より多くの生徒を参加させるための工夫をしていきたい。

与勝中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	与勝中学校				
開始年度	R3 年	登録ボランティア	1 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	与勝中学校	連携機関・団体	学習塾(1名)、大学生ボランティア(3名)	

◆代表的・特徴的な活動

- 1 活動の目的・理念
受講料無料の肝高塾(土曜塾)を開催することにより、家庭の経済格差による学びの差の是正及び、生徒の学習意欲の高揚及び基礎学力の定着を図り、学力向上・社会的自立を図っていく。
- 2 土曜教育支援体制等構築事業の取り組み概要
内 容 ○テスト対策や日頃の学習の補習や基礎力アップ
○個々の学習したい内容
○講師が準備したワークシート等



◆工夫していること

- 講義形式ではなく、机間指導を中心に質問に対応する形式を採用している。
- お互いに教え・学び合いを行うことにより、ともに学力向上へつなげる。
- 教室は3年生、1・2年クラスに分けて実施し、申し込みは随時受け付けている。
- 大学生ボランティアの協力も得ながら支援の充実を図っている。
- 窓を開け、扇風機で室内の空気の循環を行うと同時に、机、いす等の消毒も行うなど新型コロナウイルス感染症対策もしっかりと行っている。

◆成果と課題

- 【成果】
○開始当初(10月)は28名でスタートしたが、日を追うごとに申し込み者があり、現在42名となっている。
○最初は質問等もほとんどなかったが、現在は、講師へ積極的に質問を行えるなど、講師の有効活用が図られている。
○教え・学び合いの姿が見られるようになった。
- 【課題】
○参加率が30%と参加率の向上が課題である。
○中3の加入率の向上



与勝第二中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立与勝第二中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	10 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	与勝第二中学校	連携機関・団体	学校運営協議会・民生委員・自治会・子どもセンター 等	

◆代表的・特徴的な活動

- ・放課後の地域人材によるコロナウイルス感染症予防対策における消毒作業
- ・部活動外部指導者の連絡・調整
- ・各自治会の地域清掃にむけての協力呼びかけ・連絡調整
- ・進路講話等の講師確保(学校の要望に応じた対応)
- ・未来塾にかかる連絡・調整



◆工夫していること

- ・教頭、地域連携担当教職員以外の教員とも細やかに連携し、より具体的に学校の要望を反映させてコーディネートできるよう心掛けている。
- ・学校運営協議会等のお手紙や学校だよりの配付などを直接地域の方々へ届け、フェイスtoフェイスで情報交換したり、学校支援につなげたりするよう取り組んでいる。

◆成果と課題

- 進路講話などでバラエティーに富んだ講師を招聘することができ、生徒の進路意識が高まったとの声があった。
- 平敷屋エイサー保存会のご指導が素晴らしく、ダンスフェスティバルにおいて感動的なエイサーを披露することができた。
- ▲新型コロナウイルス感染症対策のなかの「読み聞かせ」を工夫し、軌道にのせること。